月間報告書　2025年9月分

学籍番号　　留学先　ノースアイランドカレッジ

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　2年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	INTRO CRIMINOLOGY	犯罪学	900	授業
2	PRINCIPLES OF MARKETING	マーケティング	940	授業
3	INTRO SOC I	社会学	840	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

必須教科書あり。（eBookはunlimitedは$90、半年先までのアクセスで$60くらい）

第２週目から3週に渡ってmini quizが毎週月曜にあり、それぞれ成績の5%×3回=15%を占めます。

また、第２週から継続して毎週月曜日に生徒が一人、もしくは複数人で一つニュースをピックアップしてみんなの前で発表するというプロジェクトが行われています。ニュースの概要を説明し、批判的に評価したり、クラスのみんなにディスカッションクエッションを投げかけたりと１０分程のドラフトを準備する必要があります。スライドは準備する必要はないです。

成績の付け方はプロジェクトや課題で70%、mini quiz(15%)と授業の最後に行われるfinal quiz(15%)で100%になっています。

授業は基本生徒参加型で、授業内に何度も先生がみんなに向かって質問を投げかけることがあります。先生がユーモアのある方で、面白くわかりやすく授業をして下さるので私も興味深く勉強しています。特に予備知識は必要なく犯罪学を学んだことがない方でも理解しやすい授業になっていると思います。

No.2

必須教科書あり。（eBookに限られており、日本円で税込１万円くらい）

毎週金曜の朝から土曜の夜までの間でチャプター2つ分のクイズ（各50分）をオンラインで自宅で受験しなければいけなくて、それがeBookを購入していないと受けることができないので教科書は買わなければいけません。各チャプター２%×15回で成績の30%を占めます。

Examは1と２に分かれていて、1の中でもpart1とpart2に分かれています。オンラインで行われ、エッセイ形式での回答となります。私の場合は月曜日と水曜日に授業があるのですが、月曜にpart1,水曜にpart2という風に分かれていました。各々65分の受験時間が設けられ、朝の８時から夜の８時までいつでも受講可能です。

Presentationはクラス内で3~4人くらいでグループを作って第3週くらいから地道にグループワークの時間をとって独自のmarketing planを練ってプレゼンの準備を進めていっています。授業の最後の週に発表です。

成績はchapter quiz30%、Examが2回で50%、授業の最後にあるpresentationが20%の100%になっています。

授業は毎回先生の講座が主になっており、特にディスカッションをしたり生徒の意見を発表する様な機会はありません。授業内容もさらっと流して説明される様な形です。ただチャプタークイズが１つ当たり選択問題が40問あり50分間で回答しないといけないので、授業外でしっかりと教科書を読んでおくことが必要になります。先生は朗らかな方で、分かりやすい英語ではっきりと発音して下さるので英語がとても聞き取りやすいです。

No.3

教科書あり。（無料でオンラインで公開されています）

クイズは複数回受けましたが、教科書の内容・文からそのまま出題されており２回受験できるので、比較的易しいと思いました。

今はMajor Projectというプロジェクトに取り組んでいて、これは自分（またはグループ）で取り組みたいテーマを決め段階を踏んで詳細に完成させていくプロジェクトで、最終的にはプレゼンテーションにして発表する必要があります。社会学とつなげて考えて、興味のある大きな分野から具体的なテーマに絞り、なぜそのテーマに興味があるのか、マクロかミクロのどちらを中心に見るか？などを含めて独自のプロジェクト案を考えていきます。

不定期で行われるオンラインクイズ（各10問の選択問題）が何個かあり全部で成績の10%を占めます。他はプロジェクトや課題で60%、Midterm Examが10%、Final Examが20%で100%になっています。

授業は先生が講座をする形が主になっていますが、授業の終盤辺りでディスカッションクエッションが出されて近くの人とグループになって考えるという時間が取られます。話した内容をグループごとにみんなに共有する時もあれば、好きに発言する時もあります。授業の内容は人の関心にもよると思いますが、私は少し難しく感じました。先生の英語が聞き取れなかったり、用語が難しく授業の内容理解が困難な時もあります。ですが先生自体はすごく優しく気さくな方なので、何か質問や相談などあれば気軽に話しかけやすいと思います。

Ⅲ．生活編

入国前:４ヶ月ほどの滞在なのでビザは申請する必要がなく、代わりにeTA(電子渡航認証)というカナダ入国ビザが免除されている国籍の方がカナダに空路で渡航する際に必要となるオンラインの渡航承認システムの申請が必要でした。申請はオンラインから簡単にでき、私の場合は申請してから２日後に降りました。申請が降りればパスポートと自動的に紐付いてくれるので、空港にて紙の書類を用意して渡したりなどする必要はありませんでした。eTAの申請は降りるのが比較的早いですが、何があるかわからないので留学が決まったら（留学期間をカバーしているパスポートと共に）なるべく早めに申請することをおすすめします！もし申請を忘れていたら、当日飛行機に乗せて貰えないことがあるので注意が必要です。申請費用は７カナダドルでした.

入国:私のフライトは伊丹空港から成田空港、成田からバンクーバー国際空港、バンクーバーからコモックス空港まで３つ飛行機を乗り換えました。当日に機内トラブルなどがあり、成田空港からバンクーバー行きの飛行機が一時間半遅延しての出発になりました。バンクーバー到着後にコモックス行きの飛行機の待ち時間が約8時間あったことから、空港内で時間を潰すのが難しく時差ボケもあり体力的に疲弊しきっていました。私は慣れない土地で迷うのが不安で次の飛行機まで空港にステイしていましたが、余裕がある方は空港周辺を観光しながら少し歩いてみるのもありだと思います！もしくは、バンクーバーからフェリーで島まで行って、そこからバスで移動する手段もありだなと思いました。コモックス空港に着いてからは送迎の方（nicの日本人職員の方）がホテルまで送って下さいました。

入国審査:食品はたくさん持ってきていましたが、飛行機に乗る前に申請はしておらず、バンクーバー国際空港到着後の入国審査のところで申請をしてから、税関の方に現金は何に使うのか、肉エキスは何に含まれているか、など話しました。即席袋麺、レトルトカレー等持ち込み可能でした。自身のことについては、どこの大学に行くか、どこに泊まるか、など。入学許可証や寮の詳細は印刷して持っていきましたが使いませんでした。でも念のために用意していた方が安心だと思います！雰囲気はお堅めで怖い感じですが、はっきりと自信を持って話せば大丈夫です◎

月間報告書　2025年10月分

学籍番号　　留学先　ノースアイランドカレッジ

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　2年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	INTRO CRIMINOLOGY	犯罪学	900	授業
2	PRINCIPLES OF MARKETING	マーケティング	920	授業
3	INTRO SOC I	社会学	930	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

今月は主に犯罪学の学派について勉強しました。様々な学派の中から一つ選んで提出する課題が出されました。ライティング、プレゼン、ポスターの中から選べるのですが、私はpositivistという学派について録音付きの５分程度のプレゼンを提出しました。先生の授業は動画を用いたり、抑揚をつけて話したりと授業内容が理解しやすく、興味深いのでいつも楽しく授業を受けています。

No.2

今月はcustomer advocacy(お客様が関わること）によってどのように売上やマーケティング案に影響が出るのかについて勉強しました。マーケティングの専門知識や様々な戦略を勉強することができ楽しかったです。来月末にプレゼンがあるので、自分たちのマーケティング案についてもグループ内で話し合い準備を進めています。

No.3

今月は広告が持つ偏見や差別についてグループでディスカッションを用いて勉強しました。今まで自分が気にしていなかった所にまで視野を広げ、新しい考え方を得ることができとても楽しかったです。来月にプレゼンがあるのでそれに向けて段階を踏んで課題を提出し準備期間が設けられていました。

Ⅲ．生活編

今月もイベントが盛り沢山で素敵な思い出がたくさんできました。その中でも一番印象に残っているのはカナダの感謝祭にちなんで友情祭（friendsgiving）を行ったことです。寮に共に住んでいるホテル生活の時から仲が良かったexchange studentsを集めて、みんなで各自ご飯を持ち寄って一緒に夜ご飯を食べました。私たち日本人グループは親子丼を作って持って行ったのですが、みんなから好評でとても嬉しかったです。留学期間も残すところ半分を切ってしまったので、これまで以上に１日を大切にしてみんなともっとたくさんの思い出を作っていきたいです。

月間報告書　2025年11月分

学籍番号　　留学先　ノースアイランドカレッジ

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　2年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	INTRO CRIMINOLOGY	犯罪学	820	授業
2	PRINCIPLES OF MARKETING	マーケティング	760	授業
3	INTRO SOC I	社会学	670	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

11月はCrime in the Newsの発表がある月だったので、Criminologyを取っている日本人三人でグループを組み日本の死刑制度が関与している事件について発表をしました。カナダでは死刑制度が撤廃されているので、カナダと日本間の犯罪に対する法律の在り方の違いについてより実感することができ興味深く感じました。クラスディスカッションの中でも、死刑は必要であるかに関してカナダ人のリアルな意見を聞くことができ貴重な時間になりました。

No.2

11月はグループプレゼンを完成させました。プレゼンの形式が少し複雑で、ミーティングをした状態でスライドを画面共有し、録画して提出という形でした。プレゼンの準備を進めていく中で、グループのみんなと頻繁に連絡を取り、意見を交換し合いました。長さは30分とされていて、こんなに長いプレゼンテーションは初めてでしたがみんなと協力してなんとか完成させることができました。

No.3

11月はMajor Projecのプレゼン・ファイナルエッセイを完成させました。一つの研究テーマについて沢山の段階を踏んで深く探究しプレゼンやエッセイを書くのは初めてで葛藤しましたが、将来の自分に取ってとってすごくプラスになったと思います。特にエッセイに関しては、英語で2000文字以上の文章を書くこと自体初めてだったので大変でしたが、課題を進めていく中でAPAというスタイルがあることなど自分の為になる知識も沢山蓄えることができたので嬉しく思います。

Ⅲ．生活編

11月は student housingに住んでいるexchange studentsのみんなとサーモンを養殖している水族館に見学に行ったり、ルームメイトにドライブしてもらってビクトリアに旅行に行ったり、滝を見に行ったり、まだ日本で公開されていない映画を見たり、友達の誕生日パーティーをしたり、みんなでボーリングやアイススケートに行ったり、housingで寿司パーティーを開催したりとイベントが盛り沢山でした。

中でも印象に残っているのは寿司パーティーで、housingに住んでいる日本人のみんなで協力してサーモン、マグロ、きゅうり、カニカマの具を揃えてみんなに自由に巻いて切ってもらいオリジナルの寿司作りに挑戦してもらいました。みんな思いの外器用で、上手に作っていました。みんなの楽しんでいる姿を見ることができとても幸せでしたし、メキシコのお友達が今まで食べた寿司の中で一番美味しいと言ってくれたのがとても印象的でした。帰国日がいよいよ近づいていて、今いる友達のほとんども12月には帰ってしまうので、できるだけ沢山の思い出を作りたいと思います。

月間報告書　2025年12月分

学籍番号　　留学先　ノースアイランドカレッジ

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　2年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	INTRO CRIMINOLOGY	犯罪学	80	授業
2	PRINCIPLES OF MARKETING	マーケティング	80	授業
3	INTRO SOC I	社会学	260	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

12月1日が授業の最終日で、Final Testがありました。cheating sheetは持ち込み可でした。記述式のテストで文字数制限は特になく、全部で５問くらいの質問に英文で答えました。

No.2

12月は通常の授業はもう行われず、プレゼンを提出する時間として設けられていました。

No.3

12月1日の最後の授業でFinal Examについて解説され、cheating sheetが持ち込み可能だと知らされました。12月15日に3時間の試験が実施されました。計５問の記述形式の試験で、一問あたりに250words程の文字数が求められ、最後の問題は350words程の文字数が求められていました。大変でしたが、cheating sheetにしっかりと授業内容を記入していれば点数はちゃんと取れると思います！

Ⅲ．生活編

12月、最後の月は最初の2週で仲が良かった留学生の半数がそれぞれの国に帰ってしまい、私も日本の12月27日に帰国しました。４ヶ月という長いようで短い期間でしたが、最後にみんなと沢山の思い出を作ることができました。カナダの友達とマウントワシントンという山にそり滑りに行ったり、留学生のみんなで最後にご飯に行ったり、無事にみんなのお見送りに立ち会うこともでき、私の帰国日に残っていたみんなもお見送りしてくれて沢山のお手紙とギフトを受け取りました:)) 帰りの長いフライトの中でみんなから貰ったお手紙を読みながら日本に帰りました。楽しいことだけではなく大変なことも沢山あった４ヶ月でしたが、私に良い影響を与えてくれたかけがえのない仲間に出会うことができ留学に行って良かったと心から思いました。この環境に身を置くことができた機会と留学前・中に私に関わって下さった方々に感謝し、この経験を自分の将来に活かせるようにこれからも更に勉学に励んでいきたいです。